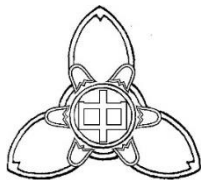


室蘭市立本室蘭中学校  
学校だより  
令和5年11月24日  
第8号



きずな  
**絆**

**本室蘭中学校教育目標**  
○磨かれた知性を育てる  
○豊かな情操を育てる  
○たくましい身体を育てる

## 「まさか」より「もしも」

校長 永堀 善之

まもなく師走を迎え、日めくりカレンダーも残り少なくなって参りました。地域、保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動の推進にご理解とご協力をいただきありがとうございます。気温もぐっと下がり体調を崩しやすい季節であり、また、インフルエンザ等の感染症も流行しているところですので、どうぞご自愛ください。

さて、1931年にハインリッヒ（アメリカ）が発表した『1：29：300』の法則というのをご存じですか？『**1つの重大事故**の背景には、**29の軽微な事故**があり、さらに、その背景には**300の異常**（ヒヤリとした、ハッとした事象）が存在する』というもので、労働災害の事例の統計を分析した結果、導き出されたものです。

始めは慎重に取りかかっていたものも、だんだん慣れてくると手早くササッとできるようになる半面、「いつもやっていることだから」とか、「今までも平気だったので」といった具合に『安全』に対する意識が少しずつ薄れてくることは誰にでも覚えがあるのではないのでしょうか。

300のヒヤリ・ハット事例には、心臓がドキッとするぐらいのものもあれば、本当にちょっとした、もしかしたら自覚しないレベルのものまであります。見方を変えれば、その300の小さな事例に意識を向けて、それを起こさないように安全確保に努めていけば、いつやって来るかわからない大きな事故・災害を未然に防ぐことができるということになります。

（ 図 ）

**【 学校で言えば、生徒指導に関わる様々な事例も同様のことが言えると考えます。】**

不幸にも起こってしまったどこかの事故や事件を、対岸の火事と考えずに自分のこととしてとらえ、「こんなことを防ぐためには自分はどうしたらよいのだろうか？」と日頃の生活を振り返ってみることはとても大切なことではないかと思えます。

日本人は、**起こってほしくないことは、いっそ起こらないことにしてしまおう** という発想をもつ傾向が強いと言われます。

最悪の事態を想定せず、「大丈夫だって。」「まさかあ、そんなこと…。」といった感じで物事を進めてしまうことが往々にしてあります。でも、それだけではないことは、コロナの3年間を通して、多少理解が進んだように感じますが、最悪に備えていると考えるていく習慣を付ける必要がやはりあるのではないかと思えます。

今後も、よりよい教育活動の展開に向けて様々なチャレンジを続けていきますが、考え方としては、「まさか」より「もしも」を優先させた思考回路を大事にし、子どもたちや子どもたちを取り巻く環境の変化に気づくための感度を高めつつ、本室蘭中学校の運営に慎重な姿勢も忘れないようにしていきたいと考えています。

## 2学年 職業体験学習 10/26 実施



日本工学院(登別市)を訪問し、専門学校での学習体験を行いました。5グループ【建築・情報処理・ホテル・CGデザイン・医療事務】に分かれ、専門的なことを学ぶことの楽しさや充実感を体験し、今後の進路選択にいかせる貴重な学びとなりました。

を体験し、今後の進路選択にいかせる貴重な学びとなりました。



特別支援学級では、白鳥台地区にある「活動支援施設あけぼの」さんのご協力をいただき、職業体験を行いました。

作業体験とパン製造に携わる体験を行い、地域の方々との関わりの中で、働くことの大変さや意義を楽しみながら学んでいました。

しみながら学んでいました。

### 生徒の感想より

- パンを作る以外に他の仕事がたくさんあって、びっくりしました。行ってよかったなと思いました。
- 私は将来医療系の職につきたいので、今回工学院での職業体験を通して、「将来絶対医療系につきたい」という気持ちが強くなりました。いろいろな知識を知ることができたので、いい経験になったと思います。
- パソコンとかタブレットの操作が難しくてちょっと苦戦してたけど、使い方を教えてもらってできたときは、すごくうれしかった!質問にも具体的に答えてくれたし、説明も分かりやすく最高だった!!

### ICT を活用した学習について

本校では、授業での ICT(主に、Chromebook)を活用した学習について、授業以外でも活用を勧めています。

#### 1. 家庭学習

デジタルドリルの活用を進めています。これまでは主に自主学習で取り組みましたが、今後、家庭での学習内容を深めるために、各教科の授業の課題(宿題等)もデジタルドリルで進めていく予定です。

デジタルドリルをフル活用し、自分の課題に対して家庭で積極的に取り組めるようにしてください。

#### 2. 学びの保証

感染症等で授業に参加することが難しい場合、学校の授業の様子を配信するなどして、学ぶ機会の保証をしています。

現段階では、希望する家庭への対応としています。ご質問などございましたら、学校までご連絡ください。

学校アンケート【2回目】へのご協力をよろしくお願いたします。前回同様「tetoru」で配信します。取組期間は、12/1～12/15です。文書でもご案内いたします。

### 12月行事予定

11/29(水)～6日(水)

- 1、2年二者懇談(希望家庭対象)
- 3年三者懇談(全家庭対象)

※この期間中は、1、2年午前授業(給食あり)

8日(金) 2年室蘭工大ものづくり体験  
【午前中】

11日(月) 会議のため部活動なし

12日(火) 冬休みの計画【学活】

### 第52回室蘭市小中学生弁論大会

#### 3年 若山龍聖さん【奨励賞】

10/28に行われた弁論大会で、本校を代表して3年若山龍聖さんが「自分を変える力」と題して出場しました。

自分自身で殻を破り、考え方を変えることの大切さや、人との関わりの中でよりよい方向に導ける大人になっていきたいという将来への希望など、中学生らしい素直な視点を大切に、堂々と発表を行いました。

### 表彰

※敬称略

◇ソフトテニス 室蘭市民大会

準優勝【男子2部】 2年 郷六・川端ペア

準優勝【女子3部】 1年 高木・山田ペア

◇北海道中学生団体対抗ソフトテニス大会 西胆振地区予選

準優勝 男子団体 →胆振大会出場

◇室蘭市明るい選挙啓発書道展

会長賞 3年 大友百々果

◇北海道中学生インドアソフトテニス大会西胆振予選会

第8位 2年 郷六・川端ペア →胆振大会出場

12月生活目標：自分の生活を振り返ろう